

# 「お互いさま」だより

**理念** 「人とのつながりを大切にした福祉活動で、誰もが笑顔で心豊かに生活できる地域社会を目指します。」

## ~~~~~ H25年度取り組みの重点 ~~~~~

- ① グループホームでの共用型サービスの検討実施
- ② 小規模多機能事業所の検討

この夏ごろから報じられているとおり、社会保障制度改革国民会議は八月六日の報告書で、要支援者に対する介護予防給付を市町村福祉に委ねるといふ基本方針を固めました。支援を必要とする人の身近なところで、柔軟かつ効果的なサービス提供が行われるよう見直しを検討しています。

この対象となるのは、要支援者に提供される通所介護と訪問介護です。現在のこのサービスを段階的（二七～二九年度）に廃止し、「新しい総合事業」に移行します。新制度では介護保険事業者だけでなく、NPO法人や民間事業者、住民ボランティアなどもサービスの担い手となり要支援者を支える主体となります。

当法人の「支え合い活動」での掃除や洗濯、買い物の活動も、「地域の居場所よってこ松沼」の事業も、ここに位置づけられる可能性が高いと思われる。

お互いさまネットワークは、平成十三年から介護保険ではなじまない事を会員相互の支え合いで行ってききましたが、ようやくその活動が目されてきました。

今後は、近隣の市・町が行う制度見直しの方性を注意深く見守って行きたいと思えます。

理事長 恩田 初男

厚生労働省 社会保険審議会  
介護保険部会（第51回）資料  
厚生労働省ホームページより

**～お・知・ら・せ～** **講演会** 講師 **山田 大輔 氏**

**地域包括ケアと実践的な取り組み** 厚労省老健局振興課介護サービス進行係 係長  
～ 困ったときに たよれるまちづくり ～ 地域包括ケア推進係 係長

日時 平成25年12月14日（土） 14:00～16:00

場所 館林高等看護学院 講堂

お申し込みは館林市邑楽郡医師会まで～FAXにて～  
早めにお申し込み下さい。

上記理事長の記事にかかわる講演です。制度設計の第一線の方のお話が聞けます。

## 介護保険事業は

～二十七年度から大きく変わります～

◎ 要支援・介護予防が市町村の事業になると・・・地域で支える活動が、さらに求められるようになります。

## 支え合い活動

一〇月二十九日に協力会員同士の交流・情報交換を目的とした懇談会を行いました。

日頃、同じ利用者さんを支えている場合もあるのに横のつながりが持ちにくいことから、大変貴重な懇談が出来ました。

次回は来年三月頃の予定です。

協力会員になるのに特に資格は要りません。

「困ったときにはお互いさま!!!」の精神があればじ

なたでも出来る活動です。

お仲間募集中です。

お気軽にお電話下さい。

74-82806



## 訪問介護

～ヘルパーの仕事 ご紹介～

お住まいに訪問して身体介護サービスと生活援助サービスを行います。現在は圧倒的に生活援助サービスが多くなっています。

その中でも特に調理の依頼が多いようです。

ヘルパーそれぞれが工夫をこらし、また、ヘルパー同士でお知恵付けし合いながら、利用者さんにおいしく食べて頂けるようがんばっております。時には、利用者さんから調理方法を教えていただくこともありますよ。・・・ありがとうございます。



## 初任者研修

平成二二年二月から行っていた「二級ヘルパー養成講座」は、平成二五年三月まで、「一七〇名が受講しました。

今年度からは「介護職員初任者研修」となり、一〇月からは二期生一八名が学んでいます。

一二月三〇日（土）には、同窓会も兼ねた講演会を開催します。情熱的なご指導をいただき、

みんなが敬愛する新井秀子先生の講演です。これを機に、これまでの受講生の動向を、円

グラフにまとめてみました。これを見ることで、年代別では五〇代が多いようです。

毎年一回、長寿社会作り財団の委託を受けた、

シニアプログラムの講習があるからでしょう。

女性が圧倒的に多いのもわかります。地域別では、館林、邑楽が多くなっていますね。

平成二五年一月 修了生に対する就業調査の結果、九九名の回答がありました。（回収率五五％）

介護関係就業者七五％、介護関係以外就業者四％、未就業者は二二％でした。

修了生のみならず今後の活躍を期待しています。

講習担当 佐藤 富代

グラフ等の資料は、

ホームページからダウンロードいただけます。

アクセスしてみてください。

## 第三回 介護職員初任者研修

一月十日（木）から開始

受講生募集中！

研修期間、およそ二か月半にわたる講義と演習・実習です。定員二十名。少人数できめ細かな指導が受けられます。一二月一〇日から受け付け開始になります。

来年度、四月に募集が始まる当法人の次の介護職員初任者研修講座は、夜間の講習を計画しています。なかなか風間には時間のない方は、次回の研修講座を受講することを考えてみて下さい。

この研修講座の特徴は、次の通りです。

- ① 定員二十名、きめ細かな指導体制
- ② 修了時には職場ガイダンスを実施
- ③ フォロアップ研修を実施

## ・お・知・ら・せ・

### 共用型サービス開始

グループホーム喜楽で、九月から新しいサービスを開始しました。グループホームの入所者様といっしょに、日中を過ごす方三名まで利用できます。

通常のデイサービスより家庭的な雰囲気の中でゆったりの人らしく過ごせます。

～ついでに松沼 かつたの喫茶

一月から毎月第四金曜日につたの喫茶を開催しています。歌の好きな方、どうぞ遊びにお越し下さい。午後のお茶の時間を楽しみましょう。伴奏・歌のリーダーをして下さるボランティアを募集しております。



# 災害に備える

一月九日(土) 毎月定例で行う避難訓練がありました。今回も夜間想定でした。消防署西分署立ち会いでの訓練は今年度二回目になります。そして、同時に設備点検も行いました。

今年度は、当初から災害備蓄品の検討会議を、三回にわたって行っており、事業所内それぞれの施設の防火管理者、火元責任者等が集まって当法人の災害時対策基本方針を話し合いました。

「水道や電気などのライフラインが失われた時でも、お互いさまネットワークはどこか別の場所に避難することなく、ここで三日は生活できるようにすることが出来るだろう。」ということでした。

電源が失われると、電話やファックスも使えません。そこで発電機も何台か購入することになりました。何台かの冷蔵庫も使えるように強力な発電機の購入が検討されました。(購入手続中...)

飲料水については、従前から掘ってあった防災井戸に、新しく手押しポンプを取り付けました。井戸水を浄水するため、ランドセル型でどこにでも持ち運べる浄水器も購入しました。

食品備蓄についても検討しました。米や乾麺を中心に三日分のメニューを決め、それに沿って食品を準備することになりました。けんちん汁、煮込みうどん、カレー、ちらし寿司、すいとん、ホットケーキなど変化に富んだ献立にしています。使われないのが一番ですが...



## イベントに参加しました

9月・10月・11月・館林市民と共に

◎ 九月一日(日) 福祉まつり



総合福祉センター  
市内NPOの仲間と共に

ポップコーン  
ところてん  
野菜の販売  
をしました。

◎ 一〇月一四日(月) 体育の日



市役所駐車場・日だまりの広場  
市民のつどい  
NPOまつりでは「パネル展示」に参加し認知症自己診断テストを行いました。この「つどい」で、よって松沼は、フリーマーケットに出店して存在をPRしました。

「よって松沼」のスタッフと利用者は、フリーマーケットのおもしろさに目覚めて大盛り上がり...  
一月三日(日)に、「たたら夢市」にも参加しました。  
みなさまのご協力で幾分か収入が得られました。  
よって松沼  
ブログをご覧下さい。



## 喜楽の日常



調理?  
まかせなさい!!



喜楽の皆さんも元気に過ごされています!

ひよっここおどりかな



誕生日  
おめでとう

81歳



89歳

## 喜楽IIの日常

11月5日に100歳になられた砂山喜久子さんです。館林市長さんもお祝いしてくださいました。

喜楽の皆さんも一緒に、盛大な100歳のお祝いです。

おめでとうございます!



みなさん、  
後に続いて  
長生きしましょうね

## デイ喜楽 秋の行楽

デイサービスセンター喜楽では、春と秋に行楽行事を行っています。今日は、皆さんと一緒に足利フラワーパークへ出かけました。

10月19日から11月8日にかけて、5班に分かれての珍道中でした。沢山の花や紅葉が私たちを迎えてくれました。ハートもお腹も大満足です。皆さんの普段見られない表情が見られ、職員も!!でした。

「ハッピーンと私、  
どっちがきれいかしら」  
「きれいさじゃ負けないわよ!」  
「ふふ、なかなかいいところじゃないの」

「本日のランチは何でしょう?」  
「え~こんなに沢山たべられるかなあ?」  
「美味しそう、早くいただきます!」  
「ごちそうが来たあ~!」「いただきます!」

